

口笛

新野の  
祐子

秩父にて「海程」最後の全国大会 三句

森深く師は慈悲心鳥われら迷わず

「寸鉄詩」とう師の言自在青葉風

白南風やひしとひろざる草の乱

赤しようびん聴こえかいなの風つくる

トマトもぎ悪事を為したような手よ

白髪太郎轢かれ面影こなごなに

曝書せり『何が私をこうさせたか』を

不死男の忌縊る支度のなされおり

黒蝮とぐろの黙に刃秘め

万緑やいつも口笛で呼ばれて